



令和7年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和7年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 多木化学株式会社

コード番号 4025 URL <https://www.takichem.co.jp/>

代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）多木 勝彦

問合せ先責任者（役職名）総務人事部長（氏名）岡本 修 TEL 079-437-6002

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 令和7年12月期第3四半期の連結業績（令和7年1月1日～令和7年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
7年12月期第3四半期	30,192	8.6	2,334	41.9	2,698	40.2	1,933	39.3
6年12月期第3四半期	27,809	11.0	1,645	165.5	1,924	124.1	1,388	97.6

（注）包括利益 7年12月期第3四半期 3,899百万円（40.2％） 6年12月期第3四半期 2,782百万円（△2.1％）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
7年12月期第3四半期	228.48	—
6年12月期第3四半期	163.85	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
7年12月期第3四半期	62,631	41,210	65.1
6年12月期	58,402	37,959	64.9

（参考）自己資本 7年12月期第3四半期 40,781百万円 6年12月期 37,881百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
6年12月期	—	—	—	55.00	55.00
7年12月期	—	—	—		
7年12月期（予想）				75.00	75.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

6年12月期 期末配当金の内訳 普通配当 50円00銭 記念配当 5円00銭（「新社長」就任記念）

7年12月期（予想） 期末配当金の内訳 普通配当 60円00銭 記念配当 5円00銭（創業140周年記念） 特別配当 10円00銭

3. 令和7年12月期の連結業績予想（令和7年1月1日～令和7年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	41,600	6.9	2,900	8.7	3,550	12.3	3,000	353.77

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

②①以外の会計方針の変更 : 無

③会計上の見積りの変更 : 無

④修正再表示 : 無

※詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

①期末発行済株式数(自己株式を含む)

7年12月期3Q	9,458,768株	6年12月期	9,458,768株
7年12月期3Q	1,122,662株	6年12月期	981,251株
7年12月期3Q	8,464,607株	6年12月期3Q	8,471,654株

②期末自己株式数

③期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」もご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、緩やかに回復しているものの、物価の上昇や通商政策などアメリカの政策動向、金融資本市場の変動による下振れリスクの影響など不透明な状況で推移しました。

このような環境の中、当社グループにおいては令和6年1月から推進している「中期経営計画2028」に基づいて、既存事業の収益力向上などに努めた結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は301億92百万円（前年同期比8.6%増）、営業利益は23億34百万円（前年同期比41.9%増）、経常利益は26億98百万円（前年同期比40.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億33百万円（前年同期比39.3%増）となりました。

なお、洛東化成工業株式会社（決算日10月31日）が当社連結子会社となったことを受けて、当社グループ化学品事業として、同社の令和7年2月から7月の6カ月間の業績を反映させております。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

（アグリ）

肥料の販売数量が増加したことや、販売価格が原料価格の上昇により値上がりし、売上高は78億6百万円と前年同期に比べ10.0%の大幅な増加となり、加えて生産方式の合理化などにより、営業利益は2億50百万円（前年同期は60百万円の営業損失）となりました。

（化学品）

水処理薬剤は、超高塩基度ポリ塩化アルミニウムの販売数量が増加したことに加え、原料価格の上昇に伴う販売価格の是正に努めたことにより、売上高は99億71百万円と前年同期に比べ13.0%の大幅な増加となりました。

機能性材料は、スマートフォン向け高純度酸化タンタルの販売数量が競争の激化により減少したものの、自動車関連セラミック繊維向け高塩基性塩化アルミニウム等の販売数量が好調に推移し、売上高は49億49百万円と前年同期に比べ8.1%の増加となりました。

その他化学品の売上高は1億39百万円と前年同期に比べ20.1%の増加となりました。

それらの結果、売上高は150億60百万円と前年同期に比べ11.4%の大幅な増加となり、営業利益は17億66百万円と前年同期に比べ21.0%の大幅な増加となりました。

（建材）

石こうボードの販売数量は減少したものの、販売価格が上昇したことにより、売上高は27億91百万円と前年同期に比べ3.3%の増加となり、営業利益は78百万円と前年同期に比べ385.2%の大幅な増加となりました。

（石油）

燃料油の販売数量が増加したことや、販売価格が値上がりし、売上高は15億円と前年同期に比べ6.6%の増加となり、加えて販売費及び一般管理費の削減などにより、営業利益は17百万円と前年同期に比べ151.1%の大幅な増加となりました。

（不動産）

ショッピングセンターの賃料収入は前年同期並みに推移したものの、賃貸物件の減少などにより、売上高は9億86百万円と前年同期に比べ2.1%の減少となりましたが、修繕費が減少し、営業利益は5億55百万円と前年同期に比べ0.3%の増加となりました。

（運輸）

貨物輸送量や荷役量は増加したものの、物品販売が減少したことにより、売上高は20億46百万円と前年同期に比べ1.4%の減少となりましたが、営業利益は2億41百万円と前年同期に比べ11.7%の増加となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、626億31百万円（前連結会計年度末比42億28百万円増）となりました。流動資産は、現金及び預金が8億70百万円、受取手形及び売掛金が12億82百万円それぞれ減少しましたが、電子記録債権が3億29百万円、商品及び製品が9億85百万円、原材料及び貯蔵品が4億60百万円、流動資産のその他が4億21百万円それぞれ増加したことなどにより、275億63百万円（前連結会計年度末比2億88百万円増）となりました。固定資産は、有形固定資産が8億55百万円、投資有価証券が29億16百万円それぞれ増加したことなどにより、350億67百万円（前連結会計年度末比39億39百万円増）となりました。

負債の部は、未払法人税等が4億46百万円、未払消費税等が2億2百万円それぞれ減少しましたが、未払金が2億20百万円、賞与引当金が2億39百万円、繰延税金負債が11億10百万円それぞれ増加したことなどにより、214億20百万円（前連結会計年度末比9億76百万円増）となりました。

純資産の部は、自己株式の取得などにより5億41百万円減少しましたが、利益剰余金が14億67百万円、その他有価証券評価差額金が19億56百万円、洛東化成工業株式会社を新たに連結子会社化したことにより、非支配株主持分が3億51百万円それぞれ増加したことなどにより、412億10百万円（前連結会計年度末比32億51百万円増）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点においては、令和7年8月7日に公表いたしました「業績予想の上方修正、配当予想の修正（増配）および自己株式の取得に関するお知らせ」に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和6年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和7年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,458	6,587
受取手形及び売掛金	10,251	8,969
電子記録債権	2,568	2,897
有価証券	—	179
商品及び製品	3,980	4,966
仕掛品	301	366
原材料及び貯蔵品	1,957	2,417
その他	771	1,193
貸倒引当金	△14	△15
流動資産合計	27,274	27,563
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	24,179	24,740
減価償却累計額	△16,194	△16,956
建物及び構築物（純額）	7,985	7,784
機械装置及び運搬具	16,762	17,688
減価償却累計額	△15,462	△16,357
機械装置及び運搬具（純額）	1,299	1,331
工具、器具及び備品	1,653	2,029
減価償却累計額	△1,411	△1,533
工具、器具及び備品（純額）	241	495
土地	7,112	7,695
リース資産	449	440
減価償却累計額	△141	△153
リース資産（純額）	308	286
建設仮勘定	44	253
有形固定資産合計	16,990	17,846
無形固定資産		
のれん	—	84
借地権	66	66
ソフトウェア	213	292
水道施設利用権等	9	10
ソフトウェア仮勘定	4	—
無形固定資産合計	293	454
投資その他の資産		
投資有価証券	13,649	16,565
繰延税金資産	32	20
その他	196	215
貸倒引当金	△34	△34
投資その他の資産合計	13,844	16,767
固定資産合計	31,128	35,067
資産合計	58,402	62,631

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (令和6年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和7年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,703	6,623
短期借入金	529	453
1年内返済予定の長期借入金	62	118
リース債務	34	32
未払金	1,439	1,659
未払法人税等	749	302
未払消費税等	266	64
賞与引当金	43	282
災害損失引当金	159	150
その他	500	637
流動負債合計	10,489	10,325
固定負債		
長期借入金	283	405
リース債務	308	284
繰延税金負債	2,610	3,720
災害損失引当金	360	263
退職給付に係る負債	3,735	3,761
預り保証金	2,516	2,518
その他	140	140
固定負債合計	9,954	11,094
負債合計	20,443	21,420
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,147	2,147
資本剰余金	1,446	1,460
利益剰余金	28,311	29,779
自己株式	△1,352	△1,894
株主資本合計	30,552	31,492
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,350	9,306
退職給付に係る調整累計額	△20	△16
その他の包括利益累計額合計	7,329	9,289
非支配株主持分	77	428
純資産合計	37,959	41,210
負債純資産合計	58,402	62,631

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和6年1月1日 至 令和6年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和7年1月1日 至 令和7年9月30日)
売上高	27,809	30,192
売上原価	21,472	22,697
売上総利益	6,337	7,495
販売費及び一般管理費	4,692	5,160
営業利益	1,645	2,334
営業外収益		
受取利息	3	8
受取配当金	225	334
その他	70	49
営業外収益合計	299	393
営業外費用		
支払利息	9	11
為替差損	—	8
廃棄物処理費用	7	8
その他	3	1
営業外費用合計	19	29
経常利益	1,924	2,698
特別利益		
固定資産売却益	89	6
投資有価証券売却益	22	115
受取保険金	33	—
特別利益合計	145	122
特別損失		
減損損失	—	28
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	16	48
固定資産圧縮損	4	—
投資有価証券評価損	—	8
災害による損失	94	—
特別損失合計	115	86
税金等調整前四半期純利益	1,955	2,733
法人税、住民税及び事業税	555	806
法人税等調整額	14	△11
法人税等合計	569	794
四半期純利益	1,385	1,939
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△2	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,388	1,933

（四半期連結包括利益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 令和6年1月1日 至 令和6年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 令和7年1月1日 至 令和7年9月30日）
四半期純利益	1,385	1,939
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,392	1,956
退職給付に係る調整額	4	4
その他の包括利益合計	1,396	1,960
四半期包括利益	2,782	3,899
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,784	3,894
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	5

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、令和7年8月7日開催の取締役会決議に基づき、自己株式148,600株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が552百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,894百万円となっております。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更に関する注記）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 令和4年10月28日。以下「令和4年改正会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、令和4年改正会計基準第20－3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 令和4年10月28日。以下「令和4年改正適用指針」という。）第65－2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、令和4年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和6年1月1日 至 令和6年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和7年1月1日 至 令和7年9月30日)
減価償却費	929百万円	1,001百万円
のれんの償却額	—	4

（セグメント情報等の注記）

I 前第3四半期連結累計期間（自令和6年1月1日 至令和6年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							調整額 （注1）	四半期 連結損益 計算書 計上額 （注2）
	アグリ	化学品	建材	石油	不動産	運輸	計		
売上高									
アグリ	7,096	—	—	—	—	—	7,096	—	7,096
水処理薬剤	—	8,827	—	—	—	—	8,827	—	8,827
機能性材料	—	4,577	—	—	—	—	4,577	—	4,577
建材	—	—	2,701	—	—	—	2,701	—	2,701
石油	—	—	—	1,391	—	—	1,391	—	1,391
不動産	—	—	—	—	7	—	7	—	7
運輸	—	—	—	—	—	2,001	2,001	—	2,001
その他	—	116	—	—	—	—	116	—	116
顧客との契約から 生じる収益	7,096	13,521	2,701	1,391	7	2,001	26,719	—	26,719
その他の収益 （注3）	—	—	—	15	999	75	1,090	—	1,090
外部顧客への売上高	7,096	13,521	2,701	1,407	1,007	2,076	27,809	—	27,809
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	48	—	89	59	357	555	△555	—
計	7,096	13,569	2,701	1,496	1,066	2,433	28,364	△555	27,809
セグメント利益 （△はセグメント損失）	△60	1,459	16	6	553	215	2,192	△546	1,645

（注）1. セグメント利益（△はセグメント損失）の調整額△546百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2. セグメント利益（△はセグメント損失）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益は「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる取引であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自令和7年1月1日 至令和7年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	アグリ	化学品	建材	石油	不動産	運輸	計		
売上高									
アグリ	7,806	—	—	—	—	—	7,806	—	7,806
水処理薬剤	—	9,971	—	—	—	—	9,971	—	9,971
機能性材料	—	4,949	—	—	—	—	4,949	—	4,949
建材	—	—	2,791	—	—	—	2,791	—	2,791
石油	—	—	—	1,485	—	—	1,485	—	1,485
不動産	—	—	—	—	5	—	5	—	5
運輸	—	—	—	—	—	1,962	1,962	—	1,962
その他	—	139	—	—	—	—	139	—	139
顧客との契約から 生じる収益	7,806	15,060	2,791	1,485	5	1,962	29,111	—	29,111
その他の収益 (注3)	—	—	—	15	981	83	1,080	—	1,080
外部顧客への売上高	7,806	15,060	2,791	1,500	986	2,046	30,192	—	30,192
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	53	—	89	59	404	608	△608	—
計	7,806	15,114	2,791	1,590	1,046	2,451	30,800	△608	30,192
セグメント利益	250	1,766	78	17	555	241	2,910	△576	2,334

(注) 1. セグメント利益の調整額△576百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益は「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる取引であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

石油セグメントの事業用資産(建物及び構築物、土地)について、減損損失28百万円を計上しております。